

第35回 東京PD研究会

「PDの『いま』を深め、『次』を拓く
—多職種・多視点で考えるPD医療—



プログラム

日 時: 令和8年5月23日(土) 14:00~18:25

会 場: 日本医科大学 橘桜会館 2階講堂

当番幹事

日本医科大学付属病院 腎臓内科 酒井行直

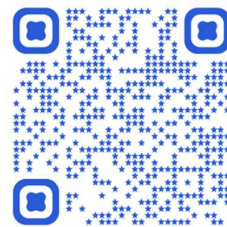
事前参加登録

<https://forms.gle/L51Hz1CB2RhQToQcA>

共 催

東京PD研究会 / 株式会社ヴァンティブ

URL <http://sspd.tokyo>



ご案内

受付開始: 13:30～(予定)

受付場所: 日本医科大学 橘桜会館 2階講堂前
〒113-0023 東京都文京区向丘 2-20-7

参加費・会費: 医師・企業関係者: 3,000円 レジデント・コメディカル: 1,000円

※ 本研究会は日本腎不全看護学会認定ポイント対象研修で、慢性腎臓病療養指導看護師(CKDLN)における受験や更新のためのポイント(参加3ポイント、筆頭発表者5ポイント等)を取得できます。

演者の方へ:

※ 一般演題は発表7分、質疑3分でお願いします。(時間厳守でお願いします)

※ スライドは Microsoft PowerPoint(Windowsのみ)で作成をお願いします。

※ スライドの事前提出は必要ありません。

※ 当日、発表データを USB メモリでお持ちください。

交通アクセス



<利用交通機関> 東京メトロ千代田線 千駄木駅または根津駅下車 徒歩 8 分

東京メトロ南北線 東大前駅または本駒込駅下車 徒歩 8 分

都営地下鉄三田線 白山駅下車 徒歩 10 分

東京PD研究会

最高顧問 佐中孜, 多川齊, 横山啓太郎(五十音順)

顧問 秋澤忠男, 乳原善文, 岡田一義, 窪田実, 栗山哲, 栗山廉二郎, 篠田俊雄,
中尾俊之, 原茂子, 本田雅敬(五十音順)

代表幹事 本田浩一

幹事 阿部雅紀, 井尾浩章, 石橋由孝, 今井早良, 大沼裕美, 菅野義彦, 片岡今日子,
古賀祥嗣, 酒井謙, 酒井行直, 丹野有道(企画部長), 内藤省太郎, 中田純一郎,
幡谷浩史, 丸山之雄, 三瀬直文(監事), 森本耕吉, 和田健彦(五十音順)

賛助会員 株式会社ヴァンティブ, 協和キリン株式会社
JMS 帝人ホームメディカルケア株式会社, テルモ株式会社(五十音順)

事務局 東京慈恵会医科大学 腎臓・高血圧内科 松尾七重

プログラム進行

14:00 - 14:05

開会の挨拶 酒井 行直

日本医科大学付属病院 腎臓内科 当番幹事

14:05～14:45

一般演題 I (発表7分 質疑3分)

【多職種連携と教育・質向上(CQI)】

座長: 今井 早良

日本赤十字社医療センター

梶山 友紀子

江戸川病院

1. 「地域における腹膜透析の多職種連携推進に向けた教育セミナーの実践」
木村 敦志 (順天堂大学医学部附属練馬病院)
2. 「地域で PD を支える人材育成を目指した訪問看護同行研修の取り組み」
片岡 今日子 (在宅看護センターひまわり)
3. 「腹膜透析外来での退院前指導の実際」
鈴木 智子 (日本医科大学付属病院)
4. 「腹膜炎予防に向けた手洗い・手指消毒に関する CQI 活動報告」
清水 明子 (日本医科大学付属病院)

14:45～14:50

休憩 (5分)

14:50～15:40

一般演題 II

【個別性に応じる PD 看護:生活支援・Assisted PD】

座長: 鈴木 智子

日本医科大学付属病院

片岡 今日子

在宅看護センターひまわり

5. 「PD 看護教育の『いま』を可視化し『次』を拓く
～ ステップアップシートを用いた個別教育の試み～」
梶山 友紀子 (江戸川病院)
6. 「補助具の活用により PD 継続ができた 1 例～患者の『できる』を信じる～」
押川 愛 (東京慈恵会医科大学西部医療センター)
7. 「Assisted PD により QOL が保たれている高齢透析患者の看護実践」
金子 あい (在宅看護センターひまわり)
8. 「PD 導入後、入退院を繰り返しながら治療を継続している 1 症例」
澤田 綾子 (三井記念病院)

9. 「生きる」をつなぐために
一重度心身障害患者と葛藤を抱えた家族との腹膜透析導入」
後関 素子 （東京慈恵会医科大学附属病院）

15:40～16:00

一般演題 III
【意思決定支援・CKM・Palliative PD】

座長：井尾 浩章 順天堂大学医学部附属練馬病院
平間 章郎 日本医科大学付属病院

10. 「進行癌を患う介護施設入居者の透析開始の見合わせ希望から Palliative PD へ移行した一例」
山田 英行 (東邦大学大森病院)
11. 「累積的苦痛を背景として共同意思決定により透析離脱を選択した長期透析患者の一例」
荘光 樹生 (東邦大学大森病院)

16:00～16:05 休憩（5分）

16:05～16:45

一般演題 IV
【PD の合併症・臨床報告と災害対策】

座長：森本 耕吉 慶応義塾大学病院
久能木 俊之介 日本医科大学付属病院

12. 「離島における台風災害時の腹膜透析患者への対応と課題」
飯塚 宏美 (町立八丈病院)
13. 「子宮全摘術後の閉経後女性における卵管采巻絡による腹膜透析カテーテル閉塞の2例」
笠原 千晶 (日本赤十字社医療センター)
14. 「腹膜透析液混濁を契機に腎出血が診断された腹膜透析の一例」
河守 咲季 (昭和医科大学病院)
15. 「繰り返す発熱とリンパ節腫脹から結核性リンパ節炎の診断に至った糖原病合併腹膜透析患者の1例」
千種 尚紀 (慶応義塾大学病院)
-

16:45～16:50

休憩（5分）

16:50～17:30

一般演題 V

【PD の治療管理・外科的手技】

座長：丹野 有道 東京都慈恵会医科大学葛飾医療センター

楊 朋洋 日本医科大学付属病院

16. 「腹水貯留を伴う肝硬変、末期腎不全患者に対する腹膜透析の導入の一例」
宗像 雄 （日本医科大学付属病院）
17. 「糖尿病を合併した糖尿病 I 型末期腎不全において夜間 APD が低血糖予防に有効であった一例」
鈴木 魁 （順天堂大学医学部附属順天堂医院）
18. 「腹膜透析関連腹膜炎症例における腹腔内観察の意義と今後」
前田 拓也 （順天堂大学医学部附属練馬病院）
19. 「TAQ 法を用いた局所麻酔によるテンコフカテーテル挿入術」
福永 昇平 （東京慈恵会医科大学葛飾医療センター）

17:30～17:35

休憩（5分）

17:35～18:15

特別講演

座長：酒井 行直 日本医科大学付属病院 腎臓内科

多職種・多視点で考える PD 医療

～人生 100 年時代を見据えたポジティブな挑戦～」

金子 朋広 先生

日本医科大学多摩永山病院 腎臓内科

18:15～18:25

優秀演題賞の発表

本田 浩一 先生

昭和医科大学 内科学講座 腎臓内科学部門

閉会の挨拶
次回当番幹事

中田 純一郎 順天堂大学医学部附属順天堂東京江東高齢者医療センター

謝 辞

第 35 回東京 PD 研究会の開催にあたり、多くの企業より多大なるご支援・ご協力を賜りました。ここに深甚なる感謝の意を表します。

第 35 回東京 PD 研究会
当番幹事 酒井 行直

協賛企業

株式会社ヴァンティブ

協和キリン株式会社

JMS 帝人ホームメディカルケア株式会社

ゼリア新薬工業株式会社

鳥居薬品株式会社

テルモ株式会社

日本ベーリンガーインゲルハイム株式会社



- 2. 禁忌(次の患者には投与しないこと)**
- 2.1 本剤の成分に対し過敏症の既往歴のある患者
 - 2.2 腸閉塞の患者【8.3、9.1.1、9.1.2、11.1.2 参照】

4. 効能又は効果

高カリウム血症

5. 効能又は効果に関連する注意

本剤は効果発現が遅延するため、緊急の治療を要する高カリウム血症には使用しないこと。【7.1.2、16.2 参照】

6. 用法及び用量

通常、成人には、1790mgとして8.4gを開始用量とし、水で整剤として、1日1回経口投与する。以後、血清カリウム値や患者の状況に応じて適宜増減するが、最終用量は1日1回25.2gとする。

7. 用法及び用量に関連する注意

- 7.1 本剤投与開始時及び投与量調整時は、1週間後を目安に血清カリウム値を測定すること。以後は、患者の状況等に応じて、定期的に血清カリウム値を測定すること。なお、血液透析患者では透析前血清カリウム値を測定すること。【7.3、8.1、11.1.1 参照】
- 7.2 増量する場合は、4gずつ増し、増量期間は1週間以上空けること。
- 7.3 血清カリウム値が3.5mmol/L未満に低下した場合、本剤の減量又は中止を考慮すること。血清カリウム値が3.0mmol/L未満に低下した場合、本剤を中止すること。血清カリウム値に応じて、カリウム補充の必要性を検討すること。【7.1、8.1、11.1.1 参照】

8. 重要な基本的注意

- 8.1 低カリウム血症により不整脈等が生じるおそれがあるので、本剤投与中は、定期的に血清カリウム値を測定すること。また、血清カリウム値に影響を及ぼす薬剤(シムvastin/ジオキサゾン系薬剤、抗アルドステロン薬、利尿薬等)の併用に変更が生じた場合、血清カリウム値の変動に注意すること。【7.1、7.3、11.1.1 参照】
- 8.2 過量投与を避けるため、服用を忘れ、同日中に服用できない場合は、翌日以降に2日分をまとめて服用しないよう患者に指導すること。【11.1.1、13.1 参照】
- 8.3 腸閉塞、腸閉塞を起こす可能性が否定できないため、患者に排便状況を確認させ、便秘が引き続き持続する際、嘔吐等の症状があらわれた場合には、処置等に相談するよう指導すること。【2.2、9.1.1、9.1.2、11.1.2 参照】

9. 特定の病歴を有する患者に関する注意

- 9.1 合併症・併発症等のある患者
 - 9.1.1 重要な病歴のある患者
 - 腸閉塞、腸閉塞を起こす可能性が否定できない。【2.2、8.3、11.1.2 参照】
 - 9.1.2 重要な併発症等のある患者
 - 腸閉塞、腸閉塞を起こす可能性が否定できない。【2.2、8.3、11.1.2 参照】
 - 9.1.3 重要な消化管運動障害のある患者
 - 症状を悪化させる可能性が否定できない。
- 9.5 妊婦
 - 妊婦又は妊娠している可能性のある女性には、治療上の有益性が危険性を上回ると判断される場合にのみ投与すること。
- 9.7 小児等
 - 小児等を対象とした臨床試験は実施していない。

10. 相互作用

10.2 相互作用(併用に注意すること)

薬品名等	臨床応用・投与方法	相互作用
ニモスチロン系抗生物質 シプロフロキサシン製剤 ドキシフロキサシン製剤 オキサセリン/モキサリン水和物製 剤 中核糖たんぱく質阻害剤 シロスタスタット/アトロキサスタット 剤 【15.2.1 参照】	本剤との併用により、これらの薬品の吸収が低下し、作用が減弱する可能性がある。併用する場合は、3時間以上空けて併用すること。	消化管内で薬品と結合する可能性があり、消化管内での薬品の吸収が低下し、作用が減弱する可能性がある。併用する場合は、3時間以上空けて併用すること。
メトホルミン製剤 【16.2.3 参照】	本剤との併用により、メトホルミンの吸収が低下し、作用が減弱する可能性がある。併用する場合は、3時間以上空けて併用すること。	本剤とメトホルミンが消化管内で相互作用を起こし、メトホルミンの吸収が低下するおそれがある。

11. 副作用

300副作用があらわれることがあるので、観察期十分に行い、異常が認められた場合には投与を中止するなど適切な処置を行うこと。

- 11.1 重大な副作用
 - 11.1.1 低カリウム血症(4.6%)
 - 【7.1、7.3、8.1、8.2、13.1 参照】
 - ① 血漿総蛋白を補わずに血清カリウム値が3.5mmol/L未満の症例数に基づき発症頻度を算出した。
 - 11.1.2 腸閉塞、腸閉塞(いずれも頻度不明)
 - これらの病態を疑わせる程度の便秘、持続する嘔吐、嘔吐等の異常が認められた場合には、投与を中止し、適切な処置を行うこと。【2.2、8.3、9.1.1、9.1.2 参照】
- 11.2 その他の副作用

	2%以上	1～2%未満	1%未満
副作用	便秘(4.6%)	下痢、腹部膨満	頭痛
臨床検査値			低マアネミア血症

21. 承認条件

医薬品リスク管理計画を策定の上、適切に実施すること。

その他の注意事項等情報については電子添文を参照ください。

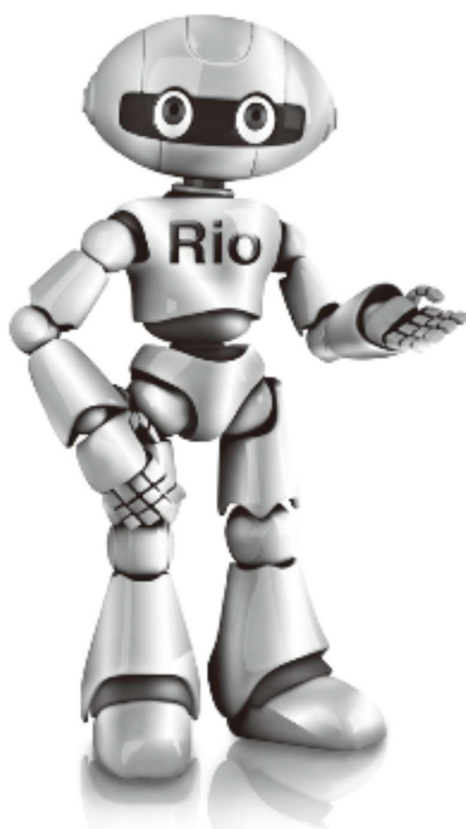
高カリウム血症改善剤 処方箋医薬品中 薬価基準収載

ビルタサ[®] 懸濁用散分包8.4g

Veltassa 8.4g powder for suspension (single-dose package)

パチロマーソルビテダスカルシウム 注) 注意 - 服用時の処方箋により異なります。

製造販売元 **ゼリア新薬工業株式会社** (支社) 東京都中央区西銀座1-1-1 TEL: 03-3541-0277 / FAX: 03-3541-0282



高リン血症治療剤
鉄欠乏性貧血治療剤

薬価基準収載

リオナ[®]

Riona[®] Tablets クエン酸第二鉄水和物錠
処方箋医薬品（注意－医師等の処方箋により使用すること）

「効能又は効果、用法及び用量、禁忌を含む注意事項等情報」等は、電子化された製品添付文書をご参照ください。

リオナ[®]製品情報サイト <https://www.riona.jp/>

文献請求先及び問い合わせ先
鳥居薬品株式会社 お客様相談室 TEL 0120-316-834 FAX 03-3231-6890



製造販売元
塩野義製薬株式会社
大阪市中央区道修町3丁目1番8号



販売元
鳥居薬品株式会社
SHIONOGI Group Company
東京都中央区日本橋本町3-4-1

HIF-PH阻害薬 腎性貧血治療薬

薬価基準収載

エナロイ[®]

ENAROY[®] Tablets エナロデュスタット錠

劇薬、処方箋医薬品（注意－医師等の処方箋により使用すること）

「効能又は効果、用法及び用量、警告・禁忌を含む注意事項等情報」等は、電子化された製品添付文書をご参照ください。

エナロイ[®]製品情報サイト <https://www.enaroy.jp/>

文献請求先及び問い合わせ先
鳥居薬品株式会社 お客様相談室 TEL 0120-316-834 FAX 03-3231-6890



製造販売元
塩野義製薬株式会社
大阪市中央区道修町3丁目1番8号



販売元
鳥居薬品株式会社
SHIONOGI Group Company
東京都中央区日本橋本町3-4-1



ENR-KO-0001 (V01) 書322298
2025年12月作成



選択的SGLT2阻害剤-2型糖尿病・慢性心不全・慢性腎臓病治療剤- 薬価基準収載

ジャディアンス®錠 10mg

選択的SGLT2阻害剤-2型糖尿病治療剤-

ジャディアンス®錠 25mg

処方箋医薬品 (注意・医師等の処方箋により使用すること)

Jardiance®

エンパグリフロジン製剤

効能又は効果、用法及び用量、禁忌を含む注意事項等情報等については電子添文をご参照ください。



製造販売元
日本ベーリンガーインゲルハイム株式会社
東京都品川区大崎2丁目1番1号
資料請求先: DIセンター
0120-189-779

2025年9月作成

Quality time for better care

Quality time for better care is Terumo Medical Care Solutions のブランドプロセスです。

TERUMO MEDICAL CARE SOLUTIONS

シンプルケア、みんなでケア だから続けられるテルモPDマイケア

患者向け
腹膜透析管理アプリケーション

テルモPDマイケア™

医療従事者向け
遠隔モニタリングアプリケーション

テルモPDマイケア™

for Hospital



テルモPDマイケア アプリ



一般的名称:自動腹膜透析装置 販売名:マイホームびこ 医療機器承認番号 213008ZZ00199000

ご使用の際は、電子添文、および取扱説明書、その他使用上の注意等をよくお読みの上、正しくお使いください。

製造販売業者 テルモ株式会社 〒151-0072 東京都渋谷区幡ヶ谷2-44-1 www.terumo.co.jp

©テルモ株式会社 2024年4月
23RC018

患者用モバイルアプリケーションMyPD CAPD患者さんへも リモート患者管理(RPM)を提供可能に

2024年6月の診療報酬改定により在宅自己腹膜灌流指導管理料における
遠隔モニタリング加算の算定要件が見直され、CAPDの遠隔モニタリングも算定できるようになりました。



MyPDは、おうち透析を支援するための患者さん用アプリです。



※1 APD患者さんのMyPDの使用はオプションです。
対応Bluetoothデバイスでのバイタル入力・閲覧、APD治療での尿少量の閲覧が可能です。

医療機器 販売名 承認番号
ホームPDシステム かぐや 22800RZK00454000
シェアソース 22800RZK00345000
シェアソース アドクエスト 30101RZK000052000
※ MyPDは、シェアソースの付属品です。

株式会社ヴァンティブ リーナルケア Japan.Renal.WebInfo@vantive.com

「おうち透析」とは「ヴァンティブ」は、在宅での治療となる腹膜透析および在宅血液透析をより多くの患者さんに提供したいと、たくましく「おうち透析」とも行けました。
※当ページでは「おうち透析」の内、遠隔透析に関する説明をいたします。